

大崎駅周辺地域都市再生緊急整備協議会 議事録

第三回 都市再生安全確保計画部会

日 時:平成29年7月24日(月)15:00～16:00

場 所:ゲートシティ大崎ウエストタワー 1階 ルームD

1. 開 会

(品川区防災まちづくり部防災課地域連携係 平原係長)

本日はお忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、大崎駅周辺地域都市再生緊急整備協議会第三回都市再生安全確保計画部会を開催いたします。本日の司会を務めさせて頂く品川区防災まちづくり部防災課地域連携係長の平原でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、部会長の品川区防災まちづくり部、古巻防災課長よりあいさつをさせて頂きたいと思います。

2. 挨 拶

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

都市再生安全確保計画部会の部会長を務めさせて頂いております、品川区防災まちづくり部防災課長の古巻と申します。よろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中、また大変お暑いな中、第三回都市再生安全確保計画部会にご参加頂きまして、誠にありがとうございます。

東京は梅雨明けし夏本番ということでございますが、九州北部で豪雨による土砂災害があり、ここ数日は東北でもかなり雨が降っているという状況です。一方、関東は空梅雨のような状態で、地域によってかなり差がある梅雨でありました。地震と水害では様相が違いますが、どのような災害がいつどこで起きるのかは、予測が付き難いところがあるかと思います。日ごろからの備えや本部会のような顔の見える関係づくりは非常に大切なことであると考えています。

部会については、都市再生安全確保計画の作成に向けて着々と準備をさせて頂いておりますが地域の特性に合ったより実効性のある計画にさせて頂ければと思っておりますので、皆様から様々なご意見を頂きたいと考えております。また今回は、前回の部会で皆様から頂いたご意見や課題の共有化を図っていききたいと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。

お忙しい中ご出席頂いていることと存じますが、引き続きご理解ご協力を賜り、質の高い計画を作成したいと考えております。本日はよろしくお願いいたします。簡単ではございますが、挨拶とさせて頂きます。

(品川区防災まちづくり部防災課地域連携係 平原係長)

ありがとうございました。続きまして、議事に入る前に事務局より連絡事項がございます。本日は広報用

の資料や実施報告書を作成するために、写真撮影および録音をさせていただきます。また、部会において議決された事項等は品川区ホームページ等により公表させていただきますので、ご理解の程よろしく願いいたします。

では、以後の進行につきましては古巻部会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3. 議 事

1)大崎駅周辺地域都市再生緊急整備協議会の構成員について

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

それではこれより次第に沿って議事を進めてまいります。「3. 議事 1)大崎駅周辺地域都市再生緊急整備協議会の構成員について」事務局より説明をお願いいたします。

(品川区防災まちづくり部防災課地域連携係 平原係長)

資料 1 につきまして説明させていただきます。資料 1「大崎駅周辺地域都市再生緊急整備協議会構成員名簿」をご覧ください。構成員名簿は 3 種類あり、1 ページ目は「協議会」構成員の名簿、2 ページ目は「協議会 会議」構成員の名簿、3 ページ目が本部会構成員の名簿となっております。こちらの資料につきましては、変更のあった方のご紹介をさせていただきますと思います。

「協議会 会議」構成員のうち、鉄道事業者の東日本旅客鉄道株式会社東京支社総務部長がこれまでの小石様から高岡様に変更となっております。また本計画部会構成員のうち、鉄道事業者の東日本旅客鉄道株式会社東京支社総務部・サービス品質改革室長が中里様から高柳様に変更となっております。また、公共公益施設管理者の東京電力パワーグリッド株式会社品川支社次長がこれまでの大須賀様から野村様に変更となっております。

また、構成員名簿には記載しておりませんがオブザーバーとして、大崎居木橋町会 永倉会長様、鈴木副会長様、大崎ウエストシティタワーズ自治会 川端様にご出席を頂いております。

構成員の説明につきましては、以上となります。

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

ありがとうございます。ただいま資料 1 のご説明がありました。それぞれ、「協議会 会議」、「都市再生安全確保計画部会」の構成員が異動に伴いまして変更がありましたというご案内でございます。

2)大崎駅周辺の地域特性、課題の共有

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

続いて「3. 議事 2)大崎駅周辺の地域特性、課題の共有」について、事務局よりご説明をお願いします。

（事務局 委託事業者）

資料 2「大崎駅周辺の地域特性、課題の共有」についてご説明させていただきます。

本資料では、これまでの地域特性、課題の検討経緯を整理した上で、平常時の特徴や災害時の課題について皆様から頂いたご意見を踏まえてまとめております。その後、今後の進め方について記載しております。最後に、ご参考として前回の部会資料でお示した基礎調査結果を再掲しております。

【資料 2 1. 地域特性、課題の検討経緯】P. 3～P. 4

3 ページ「1. 地域特性、課題の検討経緯」は、これまでの検討概要を表にまとめています。

第一回部会では、会則の確認や役員の選出、活動目的の確認、年間スケジュールの確認を行いました。第二回部会では、基礎調査データの結果を確認しながら、構成員の皆様から大崎駅周辺地域における地域の実情についての意見を頂きました。

今回の部会では、基礎調査結果と皆様から頂戴したご意見を踏まえて、大崎駅側と五反田駅側に分けて平常時の特徴や災害時の課題を整理しています。

4 ページ「【参考】対象範囲」は、ご参考として前回お示したものとなります。オレンジ色のエリアを「大崎駅側」、黄緑色のエリアを「五反田駅側」とし、地域特性を整理しています。

【資料 2 2. 平常時の特徴】P. 5～P. 6

5 ページ「2. 平常時の特徴」は、6 ページ「2. 平常時の特徴(全体イメージ)」とセットになっています。両ページとも基本的には同じ内容となり、5 ページが平常時の特徴を表形式で表わしたものの、6 ページがそれらを地図上にマッピングしたものとなります。5 ページの表に沿って説明させていただきますが、位置関係につきましては 6 ページの地図でご確認ください。

まず、「人・場所の特徴」です。五反田駅側は、駅周辺の夜間人口に比べて昼間人口、従業人口が非常に多いという特徴があります。具体的には東五反田2丁目、西五反田2丁目、7丁目となります。次に飲食店など多様な施設が集積するため、来訪者数が非常に多いという特徴もあります。また、五反田駅周辺には商業、業務、宿泊、集合住宅など、様々な用途の建物が混在して分布していますが、駅から少し離れると住宅街が広がっているという特徴がございます。さらに、五反田駅周辺には宿泊施設や多目的ホールなど、遠くからお客さまが来訪される可能性のある施設が多くあるという特徴もあります。駅の東西にはバスターミナルが 2 ヶ所あります。

続いて、大崎駅側の「人・場所の特徴」に移ります。五反田駅側と同様、夜間人口に比べて昼間人口、従業人口が著しく多いと言えます。具体的には、大崎1丁目、2丁目となります。駅周辺には大規模な業務施設、ビジネス街、集合住宅が立地しています。駅からやや離れると住宅街が広がっているという特徴もあります。また、バスターミナルが東西に 2 ヶ所あります。さらに、大崎駅側は、近年の大規模な開発に伴って公園や広場が整備されているという特徴があります。

「がけ地、狭あい」に関する特徴に移ります。五反田駅側は、駅の北側と東側に急傾斜地崩壊危険箇所が見られます。また、大崎駅側は、南西エリアで幅員 4m未満の細街路が多く見受けられることと、駅東

側等には急傾斜地崩壊危険箇所が見られます。

「道路の特徴」のうち「歩行者の多い道路」としては、目黒川沿いの道路は昼間の時間帯に多くの人通りがあります。一方、線路沿いの道に関しては昼夜とも、人通りは多くないという特徴があります。

「幹線道路」は、国道1号(桜田通り)、環状6号(山手通り)、首都高速環状線、首都高速2号目黒線が通っています。

「東西の往来」については目黒川が大崎、五反田両駅にまたがるような形で流れていることと、山手線等の線路が縦断しているため東西の往来に支障をきたす可能性があるという特徴があります。

【資料2 3. 災害時の課題】P. 7～P. 8

7 ページ「3. 災害時の課題」は、災害時に発生すると想定される課題を時系列ごとにまとめています。8 ページはそれらを地図にマッピングしたものととなります。説明は、平常時の特徴と同様、7 ページの表に沿ってさせていただきますが、位置関係につきましては8 ページの地図でご確認ください。

時系列は大きく「発災直後～数時間」、「数時間後～」の2つに分けて整理しています。

まず、「発災直後～数時間後」について説明します。五反田駅側は、滞留者や帰宅困難者が駅周辺に集中してしまう可能性があります。東五反田1丁目、3丁目、4丁目、西五反田1丁目、2丁目、7丁目には公園が立地していないことから、安全に避難する場所が非常に少ないという課題があります。

一方、大崎駅側についても滞留者や帰宅困難者が駅に集中してしまう可能性があります。大崎3丁目、4丁目、西品川2丁目、3丁目付近には小規模な住宅が密集していることから駅周辺の地域よりも若干、耐火性の観点で不安があります。また、大崎1丁目は目黒川と山手線等の線路に挟まれていることから、橋が壊れてしまった場合、避難や物資の搬送等が滞る可能性があるという課題があります。

続いて「数時間後～」の課題についてです。1 点目は、地震等の影響により鉄道が停止し、駅構内に入れない状態が長時間続くと、駅周辺では運転再開を待つ人などで多くの滞留者が発生する可能性があるという課題が挙げられています。

2 点目は、目黒川の周囲が傾斜になっていることから、駅の方角に自然に人が下りて来ってしまう可能性があるという課題が挙げられます。

3 点目は、災害時において、区との協定に基づく帰宅困難者への支援活動について、区との迅速な連携が困難になるという課題が挙げられます。

4 点目は、駅周辺の大規模な施設では平常時のビルスタッフ人数が限られており、災害時には少人数での効率的な対応が求められるという課題が挙げられています。

5 点目は、災害時に個々の事業者で情報収集ができない場合、必要な情報をどのように入手するのかという課題が挙げられています。

6 点目は、大規模施設において、3 日分の備蓄確保など都の条例に基づいた指導がされている場合でも、各テナントの備蓄状況の実態を把握しきれていない部分もあるという課題が挙げられています。

7 点目は、駅周辺地域に住んでいる方の避難所も不足する中で、地域の住民組織とどのような連携をしていくかについて考えなければいけないという点が課題として挙げられています。

【資料 2 4. 今後の進め方】P. 9

9 ページは、今後の進め方を示しています。今回の部会は、第二回部会での意見交換を踏まえた「地域特性、課題の共有」という位置付けとなっております。次回の第四回部会では、「骨子の提示」ということで、都市再生安全確保計画の目次などを事務局で作成します。また、平常時の特徴や災害時の課題を踏まえ、どのように災害時の安全確保や帰宅困難者による混乱を防止していくかについての対策を検討していく予定です。その後、第五回部会では、都市再生安全確保計画(案)を作成し、ご承認を頂くという進め方を考えております。

【資料 2 6. 滞留者、帰宅困難者の推計(修正)】P. 22

第二回都市再生安全確保計画部会で提示した基礎調査データのうち「滞留者、帰宅困難者の推計」に訂正があります。

本資料 22 ページに訂正後の「滞留者、帰宅困難者の推計」を掲載しております。正しくは、大崎駅周辺の滞留者数が 41,808 人、帰宅困難者数が 23,789 人となります。また、五反田駅周辺の滞留者数 35,290 人、帰宅困難者数が 19,430 人となります。

また、同ページの内訳項目名(グレー背景の丸付き数字部分)のうち大崎駅周辺「①」の右側の文字が一部消えておりますが、正しくは「①屋内滞留者(従業者)」となりますので、併せて訂正させていただきます。

資料 2 の説明は以上です。

※区ホームページには訂正後の資料を掲載しております。

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

ありがとうございます。地域特性、課題の共有につきまして、質疑のある方は挙手をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

(構成員 国土交通省 関東地方整備局)

何点かお伺いしたいと思います。1 点目は、本部会にはオブザーバーも参加している状況であるため、資料 1 の構成員名簿にオブザーバー欄を追加してはどうかという意見です。

2 点目は、5 ページ「2. 平常時の特徴」についてです。表中「人・場所の特徴」では、駅周辺の人口や建物用途に関する事項などが記載されていますが、「道路の特徴」と同様にもう少し細かく区分して記載したほうがわかりやすいと考えます。

3 点目は、7 ページ「3. 災害時の課題」についてです。「発災直後～数時間」と「数時間後～」に分けて記載されていますが、例えば、2、3 時間は少し慌しい時間帯、6 から 12 時間は数時間の滞留者が増えてくる時間帯、人が帰る可能性のある 24 時間後などでももう少し細かく区分して整理すると、より課題がわかりやすくなると思います。

4 点目は、災害時における帰宅困難者当の誘導手段についても具体化し、誘導するためのマニュアル

づくりといったものまで含めていくのか伺いたいと思います。他の地域では、例えばデジタルサイネージを活用した誘導等も検討されています。

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

ありがとうございます。大きく4点お話し頂きました。事務局のから回答をお願いします。

(事務局 委託事業者)

2点目のご意見についてですが、5ページ「2. 平常時の特徴」の表をさらにカテゴライズするなどして見やすくなるよう検討させていただきます。

3点目のご意見の7ページ「3. 災害時の課題」については、発災からの時間の区分を再検討し、よりわかりやすくなるように検討させていただきます。

4点目のデジタルサイネージの活用などについては、今後、他地域でも活用されているという事例も踏まえ検討していきたいと考えます。

(品川区防災まちづくり部防災課地域連携係 平原係長)

1点目の構成員リストについてですが、オブザーバーとして町会、自治会にも本部会にご出席頂いて貴重なご意見を頂いています。その辺りも踏まえ、構成員名簿の取り扱いについて確認し、次回までに回答させていただきますと思います。

また、4点目の具体的な誘導方法等に関する検討について補足させていただきます。昨年度の3月に開催した第一回部会においてご説明した中で、大崎駅周辺地域都市再生安全確保計画を策定した後、平成30年度には大崎駅周辺地域と五反田駅周辺地域のそれぞれで帰宅困難者対策協議会を設立するというお話をさせて頂きました。本計画策定後は、両地域はそれぞれ地域特性も異なることも踏まえ、より実地に即した運用を進めていくことを想定しております。先ほどのお話にありました「具体的な誘導手段」などは翌年度以降の取り組みの中で継続して検討していきたいと考えております。

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

ありがとうございます。他にご質問等ございましたら、挙手をお願いします。

(オブザーバー 大崎居木橋町会)

東日本大震災での首都圏の被害を想定した場合であれば、避難や誘導などの対応ができると思いますが、さらに大規模な震災が首都圏で発生した場合、高架の倒壊やビルが正常に機能するとは限らない場合もあるかと思います。そうした場合に備えるため、例えば町会や大規模施設などが防災備品の相互利用を可能するような仕組みを検討していくことが望ましいと考えます。また、このように大規模施設の皆様が集まっている中、お互いが保有する備蓄品リストを共有するだけでも自組織の備蓄品の過不足がわかるなど、啓蒙となると考えます。

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

ありがとうございます。では事務局からご説明のほど、よろしくお願いいたします。

(品川区防災まちづくり部防災課地域連携係 平原係長)

今回のような計画を策定する場合には、どうしても都の被害想定を前提に組み立てざるを得ないところがあり、様々な課題がでてくるかと思います。先ほどの回答でもお伝えしたとおり、本年度は、都市再生安全確保計画を策定する予定となりますが、計画が策定できたら終わりということではなく、次年度以降は計画に基づいた検討を予定しております。例えば、備品の相互利用に向けた連絡体制の検討や、地域の事業者同士が顔の見える関係づくりを行うなどが考えられますが、まずは本計画の策定が完了したあと、次のステップとして大崎駅周辺地域、五反田駅周辺地域それぞれで体制を立ち上げ、地域の実態に応じたルール等を皆様と一緒に作成していきたいと考えております。その際にもぜひご協力をよろしくお願いいたします。

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

ご指摘頂きました点、十分に反映できるよう今後進めていきたいと考えております。また、具体的な検討につきましては、来年度以降、それぞれの協議会の中で進めていく部分も出てくるかと思います。

それでは他にご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

(構成員 大崎再開発ビル株式会社)

西品川1丁目は、大規模な開発が進められており、来年度には1万人規模の新しい街ができると聞いています。こちらの地区について、4ページ「【参考】対象範囲」の地図上では、楕円の範囲内ではあるが対象範囲を示すオレンジ色のラインから外れています。今後、その他の地区でも再開発が進められた場合、滞留者・帰宅困難者の推計等にも影響がでてくると考えるが、対象範囲についてはどのように考えていくのかについて確認させてください。

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

ありがとうございます。では、事務局のから回答お願いします。

(品川区防災まちづくり部防災課地域連携係 平原係長)

西品川1丁目地区の再開発エリアについては、完成も近づきつつあるかと思います。本計画策定にあたっては、過去に4ページで示す範囲で基礎調査を実施しており、各データはこちらの範囲でご提示させて頂いております。したがって、計画策定の段階では、オレンジ色の実線の範囲内での調査結果を踏まえて進めさせて頂きまずことをご理解頂ければと思います。

一方で、当該地区は楕円に枠内に入っておりますので、次年度以降の各協議会においては実態に即した形で検討させて頂ければと思います。

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

ありがとうございます。それでは、他にご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。

(構成員 東京ガス中央支店)

今回の資料等に掲載されるかもしれませんが、電気、ガス、水道、通信といったライフラインに関する防災性能について記載する予定があるか教えてください。また、滞留者等の誘導に関してお話がありましたが、例えば要配慮者や負傷者への対応などの取り組みについても教えてください。

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

それでは、事務局からよろしくお願いをいたします。

(事務局 委託事業者)

ライフラインの状況につきましては、基礎調査において既に整理されております。今回の資料の中では特に取り扱っておりませんが計画の中では掲載していきたいと考えております。

また、要配慮者への対応については、どのように誘導していくかなど今後検討していく必要はあるかと考えております。それらについては、帰宅困難者全体をどう誘導していくかということも含めて検討していく必要がありますので、それぞれの地域ごとの特性を踏まえた地域ルールを作っていく中で、共助の取り組みとしてどのような支援ができるかについて考えていく方が、より効果的であると考えております。

(部会長 品川区防災まちづくり部防災課 古巻課長)

ありがとうございました。他に何かございましたら挙手をお願いします。

(発言なし)

それでは、様々なご意見を頂きましたが、次回の部会で予定している骨子のご提示に向けて事務局で再検討していくということで、今回の「地域特性、課題の共有」についてご承認を頂ける方は、拍手頂ければと思います。

(拍手)

ありがとうございます。本日頂戴したご意見を基にブラッシュアップし、計画の中に反映できればと思います。よろしくお願いいたします。

では本日予定をしました議事につきましては以上になりますので、進行については事務局に戻したいと思います。よろしくお願いいたします。

4. その他

1) 今後のスケジュールについて

(品川区防災まちづくり部防災課地域連携係 平原係長)

それでは、続きまして資料3「大崎駅周辺地域都市再生緊急整備協議会 第四回都市再生安全確保計画部会の開催について」をご覧ください。次回の部会では、本日頂戴したご意見、ご質問等々を踏まえ、

骨子案をお示しさせて頂きたいと思います。次回は 10 月 10 日(火)15 時から、今回と同様にゲートシティ大崎ウエストタワー ルーム D で開催する予定としておりますので、ご出席のほどよろしくお願いいたします。また、これまで同様、出欠票を付けさせて頂いておりますので、9 月 26 日までに品川区事務局まで、電子メールもしくは FAX にて送信頂きますようお願い申し上げます。

2) 構成員名簿について

(品川区防災まちづくり部防災課地域連携係 平原係長)

本部会の構成員の皆様のご連絡先につきまして、協議会会議の事務局を担っております東京都との間で情報を共有させて頂きたいと考えてございます。本件につきましてご了承方よろしくお願いいたします。

(異議なし)

ありがとうございました。

5. 閉 会

(品川区防災まちづくり部防災課地域連携係 平原係長)

それでは大崎駅周辺地域都市再生緊急整備協議会 第三回都市再生安全確保計画部会を閉会させて頂きたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

以 上